



▲余興の歌や踊りに手拍子を打つ参加者
(9月5日、合川会場)



▲白寿を代表して、津谷市長から祝品を受け取る松橋スエさん(9月7日、森吉会場)

平成30年度の敬老式が、9月5日から各地区10会場で開催され、長寿を祝うとともに、一年ぶりの再会とお互いの健康を喜び合いました。今年の敬老式の対象となった75歳以上の方は、市全体で8241人。このうち白寿(99歳)を迎えられた方が22人、米寿(88歳)を迎えられた方が399人です。

9月5日に合川体育館で行われた合川会場の式典で津谷市長は「私たちが元気で豊かな生活ができるのも、皆さまが築き上げた礎があったのことであり、長年のご尽力に対して心から感謝申し上げます。このあとの祝宴では、合川地区の仲間同士で思い出話や苦労話などを語り合ってください。今年も「あいらしい」などとおいさつ。このあと、新敬老者や白寿、米寿を迎えられた方に祝品が贈られたほか、合川小学校5年の庄司真帆さんが「ありがとうおじいさんおばあさん」と題した作文を発表し、最後には新敬老者を代表して米倉房さんがお礼の言葉を述べました。式典終了後には、祝宴が開かれ、参加者はお互いの近況を語り合うなど楽しい時間を過ごしました。

一年ぶりの再会に会話が弾む

平成30年度北秋田市敬老式

- 8月16日(木)▽第56回阿仁の花火大会(阿仁河川公園)
17日(金)▽北秋田市戦没者追悼式(文化会館)▽秋田県遺族連合会北秋田郡市戦没者遺族地方大会(文化会館)
19日(日)▽第13回北秋田市民俗芸能大会(文化会館)
20日(月)▽2018台湾トップセールス(23日まで)(台湾)
26日(日)▽第10回ノスタルジックカーフェスタin北秋の杜(北秋の杜公園駐車場)
27日(月)▽ハローキティプロモーション事業 小中学校オリジナル缶バッジ贈呈式(合川小学校)▽坊沢地区自治会 市長と語る会(坊沢公民館)
28日(火)▽《仮称》能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会設立総会(能代市)
29日(水)▽秋田県後期高齢者医療広域連合臨時会(秋田市)
30日(木)▽伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ「秋田県特別表彰」受賞報告(本庁舎)▽北秋田市・郡選出秋田県議会議員と北秋田市との意見交換会(本庁舎)
31日(金)▽定例記者会見(本庁舎)▽秋田県林材業団体連絡協議会 常総会(秋田市)
9月2日(日)▽秋田県総合防災訓練(市内各所)
3日(月)▽森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議(秋田市)
5日(水)▽合川地区敬老式(合川体育館)
7日(金)▽森吉地区敬老式(森吉総合スポーツセンター)
8日(土)▽第18回北秋田市縄文まつり(伊勢堂岱縄文館)
9日(日)▽縄文シテイサミットinきたあきた(市民ふれあいプラザ)
▽第16回北秋田市たかのす太鼓まつり(大太鼓の館)
11日(火)▽北秋田市議会9月定例会初日(議事堂)
12日(水)▽阿仁地区敬老式(阿仁公民館)
13日(木)▽北秋田市議会9月定例会 一般質問①(議事堂)
14日(金)▽北秋田市議会9月定例会 一般質問②(議事堂)
15日(土)▽鷹巣地区敬老式(市民ふれあいプラザ)

市長ダイアリー

◇8月16日～9月15日

きらっとヒカル 北秋田の企業 Vol.18

社会福祉法人 北秋田市社会福祉協議会



【会社概要】
◆所在地 北秋田市花園町16-1
◆主な事業 福祉・介護サービスの実施等
◆従業員数 591人
◆電話番号 0186-69-8025

何をしている会社？

地域住民や行政・福祉・医療などの関係機関の協力のもと、誰もが住み慣れた町で安心して暮らすことのできる「福祉のまちづくり」を実現するために高齢者福祉、困窮者支援、ボランティア活動、福祉教育などの様々な福祉活動を推進する団体です。各市区町村単位で組織されています。

会社のアピールポイントは？

介護・福祉・医療の専門知識や技術を高めながら、市民一人一人の生活に寄り添う仕事です。また、制度では支援しきれない方や複合的な問題を抱えている方に対しても、地域の支え合いの中で生活課題の解決を図っていきます。



ユニットリビング



介護の様子

若手社員の声



伊藤 由佳さん(24)

私は介護職員として日々利用者様の生活の援助をしています。学生の頃より目指していた介護職に就くことができ、利用者様が安心して豊かな生活が送れるよう試行錯誤しながら、とてもやりがいを感じています。

ショー コリガン



私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.27

「田んぼアート」

秋田内陸線の車窓から見た景色…春に花、秋に紅葉、冬に雪ですが、夏と言えば、田んぼアート！稲作が盛んな北秋田だからこそできる芸術。田んぼアートに使われる黄色の稲を目にすると、収穫直前の稲穂を想像し、新米のきりたんぼ鍋が楽しみです(でも、今回の写真を撮ったのは8月だから、季節外れ??)。

内陸線に乗って、私の好きな阿仁の花火に出かけました。その日は、稲の育ちが助けられただろう小雨でした。実は、北秋田市のALTの一人が花火師の免許を取り、打ち上げを頑張ってくれました。日本の文化に興味があって来日するのは、決して珍しいパターンではありません。

んが、アメリカ人のALTが花火師になり、市の行事で活躍するのは、非常に珍しいことだと思います。



話は変わりますが、花火の日に私の家族がアメリカから北秋田市に遊びにきており、日本の花火に感動していました。アメリカでは市が全額を負担しますが、日本式のように寄付金によって打ち上げられた方が「みんなの花火」と感じると話していました。